

各位

上場会社名 朝日工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 村上 政徳
 (コード番号 5456)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 矢口 誠
 (TEL 03-3987-2161)

平成 29 年 3 月期 通期業績予想等と実績値との差異に関するお知らせ

2017年3月期(2016年4月1日～2017年3月31日)連結業績につきまして、2016年5月10日に公表いたしました予想値と差異が生じたのでお知らせいたします。また、個別業績における前連結会計年度実績値との差異についても、併せてお知らせいたします。

記

1. 2017年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異(2016年4月1日～2017年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 33,000	百万円 1,500	百万円 1,500	百万円 1,300	円 銭 185.71
実績値(B)	32,354	1,200	1,115	820	117.15
増減額(B-A)	△645	△299	△384	△479	
増減率(%)	△2.0	△19.9	△25.7	△36.9	
(ご参考)前期実績 (2016年3月期)	36,348	1,915	1,931	2,503	357.67

2. 2017年3月期通期個別業績実績値と前期実績値との差異(2016年4月1日～2017年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績(A)	百万円 33,675	百万円 1,794	百万円 1,755	百万円 2,432	円 銭 347.54
実績値(B)	30,176	1,054	915	764	109.28
増減額(B-A)	△3,498	△740	△839	△1,667	
増減率(%)	△10.4	△41.2	△47.8	△68.6	

3. 差異の理由

①連結業績予想値と実績値との差異

鉄鋼建設資材事業において、本格的な東京オリンピック需要の顕在化には至らず計画に比べ販売数量が減少したことに加え、鉄スクラップ価格と販売価格との値差(メタルスプレッド)が縮小したこと、農業資材事業において肥料価格が二度にわたり下落したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想値を下回る結果となりました。

②個別業績実績値と前期実績値との差異

鉄鋼建設資材事業における販売数量減少とメタルスプレッド縮小、農業資材事業における肥料価格下落により、売上高、営業利益、経常利益ともに前期実績値を下回る結果となりました。

また、前期は、投資有価証券売却益407百万円、税効果会計における会社区分の変更を受けた法人税等調整額△533百万円を計上したこともあり、親会社株主に帰属する当期純利益が前期実績値を下回る結果となりました。

4. 当期の配当について

当期の配当につきましては、1株当たり20円を期末配当とし、既に実施いたしました中間配当とあわせ、1株当たりの年間配当額は、合計で30円を予定しております。上述のとおり、利益は予想値を下回る結果となりましたが、安定した利益還元継続を基本とする方針に基づき、期末配当予想の修正は行いません。

以上